

2018年2月28日

「OM-D E-M1 Mark II」Ver.2.0、「OLYMPUS PEN-F」Ver.3.0 および「OM-D E-M5 Mark II」Ver.4.0 ファームウェアのアップグレードを実施

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)は、ミラーレス一眼カメラ「OLYMPUS OM-D E-M1 Mark II」用ファームウェア Ver.2.0、「OLYMPUS PEN-F」用ファームウェア Ver. 3.0ならびに「OLYMPUS OM-D E-M5 Mark II」用ファームウェア Ver.4.0を2018年2月28日(水)から公開します。各製品の機能追加と性能向上などを実施すると共に、新アートフィルター「ブリーチバイパス」を追加しました。

加えて、動画専用ピクチャーモード「Flat」で撮影された動画をブラックマジックデザイン社製 DaVinci Resolve でグレーディング作業をするための LUT(Look Up Table)ファイルも同時に公開します。

●「OM-D E-M1 Mark II」ファームウェア Ver.2.0 主な内容

1. プロキャプチャーモードの機能向上
(プリ連写枚数 14 枚→35 枚に増加、プロキャプチャー作動中の表示追加、対応レンズの拡張)
2. 深度合成対応レンズに「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-100mm F4.0 IS PRO」を追加
3. スモール AF ターゲット設定を追加(S-AF、C-AF とも)
4. ボディー内 Fisheye 補正(M.ZUIKO DIGITAL ED 8mm F1.8 Fisheye PRO 使用時)を追加
5. 再生時の拡大倍率の指定と、ピクセル等倍表示を追加
6. 光源によるフリッカーの影響を抑える細やかなシャッター速度調整ができる「フリッカーキャン」機能を追加

●「OLYMPUS PEN-F」ファームウェア Ver.3.0 主な内容

1. 撮影画像のモノクロ・カラープロファイル情報を PC 経由でカメラに保存が可能
2. モノクロプロファイルコントロールのシェーディング効果をカラープロファイルコントロール、カラークリエーターでも使用可能

●「OM-D E-M5 Mark II」ファームウェア Ver.4.0 主な内容

- ・ 深度合成機能を搭載

●各製品ファームウェア共通内容

1. 新アートフィルター「ブリーチバイパス」追加
2. パナソニック株式会社製交換レンズ「LEICA DG ELMARIT 200mm / F2.8 / POWER O.I.S.」対応

<本件に関するお問合せ先>

●報道関係の方:【雑誌・業界紙/誌・Web 媒体の方(経済関連の雑誌・Web 媒体を除く)】

オリンパス株式会社 広報・IR 部 広報 2 グループ 筑後
TEL 03-5738-3466(ダイヤルイン) FAX 03-5738-3794
〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-50-1 笹塚 NAビル

【新聞/通信社、経済関連の雑誌/Web 媒体の方】

オリンパス株式会社 広報・IR 部 広報 1 グループ 丸山
TEL 03-3340-2174(ダイヤルイン) FAX 03-6901-9680

- 一般の方: オリンパスカスタマーサポートセンター
TEL 0570-073-000(ナビダイヤル)

- ホームページ: オリンパス イメージングサイト <https://olympus-imaging.jp/>



「OM-D E-M1 Mark II」
「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-100mm F4.0 IS PRO」
装着イメージ



「OM-D E-M5 Mark II」(ブラック)
「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-40mm F2.8 PRO」
装着イメージ



「OLYMPUS PEN-F」(シルバー)
「M.ZUIKO DIGITAL ED 12mm F2.0」
装着イメージ

「OM-D E-M1 Mark II」はプロのハードな使用にも応えるフラッグシップ機として、「OLYMPUS PEN-F」は、モノクロ / カラープロファイルコントロール機能に代表される“作品の創造”に最適な「OLYMPUS PEN」シリーズの高性能モデルとして、また「OM-D E-M5 Mark II」はコンパクトなボディに5軸手ぶれ補正機能を備えた高性能ミラーレス一眼として好評を頂いています。

今回の「OM-D E-M1 Mark II」ファームウェアVer. 2.0では、初のアップグレードとして、多くのお客様からの要望にお応えする機能追加・性能改善を行います。「OLYMPUS PEN-F」ファームウェアVer. 3.0ではご要望の多かった撮影画像のモノクロ/カラープロファイル情報をカメラに保存する機能を追加します。また「OM-D E-M5 Mark II」ファームウェアVer. 4.0では、「OM-D E-M1 / E-M1 Mark II」に搭載している深度合成機能を追加します。また、各製品共に「OM-D E-M10 Mark III」で搭載した新しいアートフィルター「ブリーチバイパス」を追加します。

当社はファームウェアアップグレードによる最新機能の追加、性能向上により、製品を長くお使いいただけるよう努めてまいります。

●「OM-D E-M1 Mark II」ファームウェア Ver.2.0 主な内容の詳細

1. プロキャプチャーモードの機能向上

- ・ 1st レリーズ(シャッターボタン半押し)から記録を開始し、2nd レリーズ(シャッターボタン全押し)までの最大画像記録枚数(プリ連写枚数)が 14 枚から 35 枚になります。
- ・ プロキャプチャーモード時に 1st レリーズで画像取り込みをしている状態が確認できる表示を追加しました。
- ・ プロキャプチャーH(AF / AE 一枚目固定)での対応レンズが、装着可能な全てのレンズとなりました。

レンズ	プロキャプチャーL	プロキャプチャーH
オリンパス製 マイクロフォーサーズシステム規格レンズ	○	○
他社製 マイクロフォーサーズシステム規格レンズ	—	○
フォーサーズシステム規格レンズ	—	○
電気接点を持たないレンズ(MFのみ)	○	○

プロキャプチャーモード レンズ対応表

2. 深度合成対応レンズに「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-100mm F4.0 IS PRO」を追加

カメラ内深度合成に使えるレンズとして、「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-100mm F4.0 IS PRO」を追加し、対応レンズが 8 本に(M.ZUIKO DIGITAL ED 8mm F1.8 Fisheye PRO / ED 30mm F3.5 Macro / ED 60mm F2.8 Macro / ED 300mm F4.0 IS PRO / ED 7-14mm F2.8 PRO / ED 12-40mm F2.8 PRO / ED 40-150mm F2.8 PRO / ED 12-100mm F4.0 IS PRO(新規) の計 8 本)。

3. スモール AF ターゲット設定を追加(S-AF、C-AF とも)

シングルターゲット(1 点)の AF エリアに、ご要望の多かったスモール AF ターゲットを追加しました。これにより、被写体のより細かな部分を狙った AF ができるようになります。

4. ボディー内 Fisheye 補正(M.ZUIKO DIGITAL ED 8mm F1.8 Fisheye PRO 使用時)を追加

OLYMPUS Viewer 3 に搭載している「Fisheye 補正(ディストーション補正)」がボディー内で行えます。「M.ZUIKO DIGITAL ED 8mm F1.8 Fisheye PRO」を魚眼効果なしのワイドレンズとして使用できます。補正効果をモニターで確認しながらの撮影が可能です。

5. 再生時の拡大倍率の指定と、ピクセル等倍表示を追加

再生時の最初の拡大倍率(最初にダイヤルを 1 ステップ回したときの値)の指定ができるようになります。また、拡大倍率にご要望の多かったピクセル等倍を追加し、より迅速な画像確認が可能です。

6. 光源によるフリッカーの影響を抑える細やかなシャッター速度調整ができる「フリッカーキャン」機能を追加

「フリッカーキャン」機能により、LED 光源下など、電子シャッター使用時に発生しやすいフリッカーをモニター上で確認でき、フリッカーが発生しないシャッター速度を細やかに選べるようになりました。

その他改善項目

- ・ コンティニュアス AF(C-AF)の性能を向上
- ・ AEL/AFL ボタンで行う親指 AF 設定での AF 動作レスポンスを改善
- ・ 動画撮影時の IS 性能を改善し、より自然なカメラワークの動画撮影に(IS 搭載レンズは同時公開のファームアップが必要)
- ・ OLYMPUS Capture を使ったテザー撮影でのレスポンスと安定性を改善し、快適な撮影ワークフローを提供
- ・ 電池残量アイコンの分割数を増やし、電池残量の視認性を向上

●「OLYMPUS PEN-F」ファームウェア Ver.3.0 主な内容の詳細

1. 撮影画像からカメラ内のモノクロ・カラープロファイル情報を PC 経由でカメラに保存が可能

最新のオリンパス デジタルカメラ アップデーター (Ver. 2.1) を利用し、「OLYMPUS PEN-F」で撮影された画像を選ぶことでそのモノクロ・カラープロファイル設定をカメラに保存できます。

2. モノクロプロファイルコントロールのシェーディング効果をカラープロファイルコントロール、カラークリエイターでも使用可能

お客様からのご要望の多かった、シェーディング効果をカラープロファイルコントロール、カラークリエイターでもお使いいただけるようになり、写真表現がより広がります。

●「OM-D E-M5 Mark II」ファームウェア Ver.4.0 主な内容詳細

・ 深度合成機能を搭載

「TG-3 / TG-4 / TG-5」「OM-D E-M1 / E-M1 Mark II」に搭載している深度合成機能を「OM-D E-M5 Mark II」に搭載しました。ピント位置を変えながら 8 枚の写真を撮影し、手前から奥までフォーカスの合った写真をカメラが自動で合成します。対応レンズは「OM-D E-M1 Mark II」ファームウェア Ver.2.0 と同じ 8 本です。

●各製品ファームウェア共通内容

1. 新アートフィルター「ブリーチバイパス」追加

2017 年 9 月に発売した「OM-D E-M10 Mark III」に搭載した新しいアートフィルター「ブリーチバイパス」を搭載しました。フィルム現像時に使われる手法「銀残し(ブリーチバイパス)」の効果を再現します。街並みを渋みのある情景に変え、車体や飛行機などの金属の質感をより印象的に仕上げるすることができます。効果の違いで Type I と Type II の 2 種類を選べます。

2. パナソニック株式会社製交換レンズ「LEICA DG ELMARIT 200mm / F2.8 / POWER O.I.S.」対応

パナソニック株式会社製交換レンズ「LEICA DG ELMARIT 200mm / F2.8 / POWER O.I.S.(H-ES200)」の使用時に、オートフォーカス(AF)機能が正常に動作しない場合がある不具合を修正しています。

ファームウェアアップデートの詳細は、下記 URL からご確認ください。

「OM-D E-M1 Mark II」、 「OM-D E-M5 Mark II」

<http://cs.olympus-imaging.jp/jp/support/cs/dslr/fw/index.html#omd>

「OLYMPUS PEN-F」

<http://cs.olympus-imaging.jp/jp/support/cs/dslr/fw/index.html#pen>

●動画専用ピクチャーモード「Flat」用 LUT ファイルの公開

「OM-D E-M1 Mark II / E-M5 Mark II」に搭載されている動画専用ピクチャーモード「Flat」で撮影された動画ファイル用の LUT ファイルを公開します。このファイルは、撮影したファイルをブラックマジックデザイン社 DaVinci Resolve で BT.709 に変換し、カラーグレーディング作業をするためのものです。

詳細は、下記 URL をご確認ください

<http://cs.olympus-imaging.jp/jp/support/cs/soft/3dlut/3dlut.html>

仕様については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。